

## ステージⅡ（公認スキー準指導員）検定種目について

本年度、教程の改定にあたり、過日行われました指導員理論研修会において、ステージⅡ（公認スキー準指導員）の検定種目の変更を周知致しましたが、その後行われました、北関東ブロック研修会にて、種目の技術観点を集約した結果、受検者が十分な技術力を発揮できるよう、また、技術的な混乱を招かないため、2種目の増設をいたしました。

なお、検定種目については各県連に委ねられていることから、栃木県スキー連盟は下記のとおり実施することとなりました。

また、検定の合格基準についても下記のとおりと致します。

### 検定種目（◎は追加項目）

#### ①A単位

- 制動技術 横滑りと停止（左右方向） 急斜面・整地
- 回転技術 谷回りの原則的な運動（左右方向） 中斜面・整地
- ◎ 回転技術 外主導によるプルーク・ボーゲン 緩斜面・整地

#### ②B単位

- ◎ 回転技術 ワイドスタンスによる谷回りの連続 緩中斜面・整地
- パラレルターン 小回り 急斜面ナチュラル斜面
- パラレルターン 大回り 急斜面ナチュラル斜面

#### ③C単位

- フリースタイル（実践滑降） 小回り 中急斜面・不整地
- フリースタイル（実践滑降） リズム変化 総合斜面ナチュラルな斜面

#### ④D単位

- 基礎理論

### 合格基準

- ◎ A単位、3種目中2種目合格をもって単位合格とする。
- ◎ B単位、3種目中2種目合格をもって単位合格とする。
- ◎ C単位、2種目の総合計点(200点満点)の150点以上をもって単位合格とする。
- D単位、理論は200点満点とし、60%以上をもって単位合格とする。

\* 理論研修会にて報告しました、教程の実施要領、栃木県連としての変更点を変えることなく種目が増えたことにより、単位をとりやすく総合的に合格しやすくなったと思われる。

栃木県スキー連盟会長 綱川 千夫  
教育本部長 阿久津 順夫